

いつのころからか、私は「気」について興味を持つようになりました。近くの公園で毎朝やっている太極拳の練習に偶然参加することになり、徐々に大気中の「気」の流れを感じるようになり「気」に対する興味は益々強くなりました。さらに昨年の10月に右肩を痛めてから、右の腕を上げることが出来なかったのですが、太極拳の練習を毎朝続けているうちに自然に完治しました。また、ハンドヒーリングのクラスの受講後から、手のひらがビリビリするようになり、この不思議な感覚はそれ以来ずっと感じています。

こうした経験を通じて、「気」について学びたいという思いが強まり、同時に、「気」を活用した中医学にも興味を持つようになりました。西洋医学では、認められた疾患を肉体的な観点のみから診察して治療を行ないますが、中医学では、疾患を肉体的、心理的及び精神的な観点、すなわち総合的に見据えて治療を行ないます。中医学の病に対する総合的なアプローチは西洋医学とは異なっていることから、西洋医学で足りない側面を中医学で補うことで、医療の質を向上することが出来るのではないかと考えます。

以上より、御校で「気功」を中心に中医学について学び、病の治療及び人類のQOLの向上に貢献できる活動に携わりたいと思います。